

# 救急車の適正な利用をお願いします

緊急性がないにもかかわらず、救急車を利用する人が多く見受けられます。

市民の皆さんの適正な利用をお願いいたします。

## 昨年は救急搬送のうち4割が軽症

昨年、救急搬送した人のうち、入院の必要のない軽症の人が全体の4割を越えています。

留萌消防署2台、小平支署1台という限られた救急車を運用する中で、タクシーや歩いて病院に行けるような病氣、怪我で救急車を利用すると、1分1秒を争う重症や危篤状態の人の搬送に支障をきたし、助かる命を救えなくなる恐れもあります。

軽症など緊急性のない場合は、自家用車やタクシーを利用するなど、皆様のご協力をお願いします。

助け合いの精神で、正しい救急車の利用を心がけましょう。

救急車を  
このような使い方  
していませんか？

- ① 緊急性のない状態のときに呼んでいませんか？
- ② 夜間や休日に、病院がわからないからと利用していませんか？
- ③ タクシーがわりに利用していませんか？
- ④ 医者に早く診てもらえると思い、呼んでいませんか？



このような時は、  
今一度  
考えてみて下さい

- 風邪をひいた・熱がある
- 歯が痛い
- 指を切ったなどの  
軽い怪我をした
- 入院の予定がある など

☆日曜日急病診療当番病(医)院は、新聞紙面・広報紙・留萌市ホームページで確認できます。

☆お問い合わせなどは留萌消防組合消防署・指令救急係まで (☎42・2211)